

文化面で、3年生の顕著な活躍！

9月6日（日）付の、「朝日中学生新聞」（全国版）に、国語の授業の発展教材として取り組んだ、2組の菅野美緒さんの文章が掲載されました。その内容は、この新聞で行っている、「よし、書いてみよう」というコーナーの8月23日号で出された、8月6日付朝日新聞の「天声人語」を読み、「原爆で亡くなった広島第二高等女学校2年西組の級友たち、一人ひとりの記録をまとめた関千枝子さんに、『200字の手紙』を書きましょう」という課題に対して、自分の思いをまとめたものです。

裏面に、美緒さんの書いた関さんあての手紙が掲載されている紙面のコピーを載せましたが、印刷の関係で読みづらいので、下にその内容を掲載します。ぜひ一読ください。

原爆投下決めたのは人間

関千枝子様

七十五年前の八月六日、友人の死を目の当たりにし、一人生き残った思いは、言葉で言い表せるものではないと思います。あの時、原爆が落とされなければと心が痛みます。

原爆で亡くなった人は「運が悪い」という考え方は間違っている、と私は考えます。原爆を作ったのも、投下を決めたのも人間だからです。原爆投下が二度と起きないように私自身が学び、伝えていきたいです。

福島県伊達市立伊達中3年・菅野美緒

また、9月25日（金）に会津若松市で行われる、「第42回少年の主張福島県大会」に、1組の高野莉歩さんが出場することになりました。こちらは、莉歩さんの作文が伊達市青少年育成市民会議から推薦され、県内各地から集まった作品の中からたった15名が選ばれるという、大変な難関を突破したものです。当日も、会場で素晴らしい作文を立派に披露することを期待しています。

新しい合唱練習の形～フェイスシールドを着用して～

今週から、音楽の授業で、PTAの新型コロナウイルス感染症対策の予算で購入していただいたフェイスシールドを使った合唱の授業が始まりました。これまでは、マスクを着用したまま歌っていましたが、息を吸う際にマスクが口に吸いついて、息を吸いづらかったり、口がマスクで覆われているために、口を動かさづらかったりしましたが、フェイスシールドを着用すると、そのような難点が解消されるので、とても歌いやすくなりました。使用後は、必ず携帯用の手指消毒用ハンドジェル（これもPTAの予算で購入していただきました）でフェイスシールド内側を拭き取るようにしています。3年生にとっては最後の合唱コンクールです。新型コロナウイルス感染症対策を万全にしながら、本番で素晴らしい歌声を響かせてくれることを期待しています。



<第2学期第4週の予定>

月日	朝	1	2	3	4	5	6	行事等
9/14(月)	社12	月1	月2	月3	月4	月5	道徳	短縮
9/15(火)	国13	火1	火2	火3	火4	火5	火6	短縮
9/16(水)	数13	水1	水2	水3	水4	水5	総合	短縮 清掃なし 学年集会（6校時前半）
9/17(木)	英13	木1	木2	木3	木4	木5	木6	短縮
9/18(金)	理13	金1	金2	金3	金4	壮行会		午前中普通授業 支部中体連新人大会壮行会（13:35入場）

18日（金）に、今年度初めての壮行会があります。後輩に向けて励ましのエールを精一杯送りましょう。

